

脳神経外科 外来担当医表

…非常勤医師						
	月	火	水	木	金	土
午前	三浦 直久	三浦 直久	星野 達哉 (9:00~) ※脳血管内治療	東京女子医大医師	三浦 直久	富永 稔弼 (第1・3・5週) ※脳血管内治療
	中村 秀 ※脳血管内治療	三浦 直久	草野 良 (予約制)	星野 達哉 ※脳血管内治療	草野 良 (予約制)	百崎 央司 (第2・4週)
午後	厚地 正子					

脳神経外科スタッフのご紹介

脳神経外科診療部長/
板橋セントラルクリニック院長
三浦 直久 (みうら なおひさ)



脳神経外科診療部長
厚地 正子 (あつち しょく)



脳神経外科医長
星野 達哉 (ほしの たつや)



専門分野

脳神経外科一般

脳血管障害 脳腫瘍

専門医認定/資格等

医学博士

日本脳神経外科学会専門医・指導医

日本脳卒中学会専門医・指導医

東京都身体障害者福祉法指定医

(肢体不自由の診断)

厚生労働省認定難病指定医

医長

草野 良 (くさの りょう)

専門分野

脳神経外科一般

医員

森澤 華子 (もりさわ はなこ)

専門分野

脳神経外科一般

脳血管障害 救急科

専門医認定/資格等

医学博士

日本脳神経外科学会専門医・指導医

日本脳卒中学会専門医・指導医

医員

中村 秀 (なかむら すぐる)

専門分野

脳神経外科一般

脳血管内治療

専門医認定/資格等

日本脳神経外科学会専門医

医員

百崎 央司 (ももさき おうじ)

専門分野

脳神経外科一般

医員

富永 稔弼 (とみなが ただすけ)

専門分野

脳神経外科一般

脳血管内治療

専門医認定/資格等

日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会脳梗塞急性期rt-PA適正使用講習会受講

厚生労働省がん診療に携わる医師に対する

緩和ケア研修会修了

厚生労働省東京女子医科大学病院指導医講習会修了

病院受診、入院・介護施設選びに困ったら
IMS総合サービスセンター(GSセンター)へ



GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を!
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定!
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)
対象者さま基本情報等の連絡
【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック 検索



gscenter@ims.gr.jp



◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

FREE 0800-800-1632

※「050」からはじめるとIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

IMS 総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

板橋中央総合病院 地域広報誌

PLAZA IMS(プラザイムス) Vol.61 秋号

発 行: 板橋中央総合病院 企画広報室

発行日: 2020年11月

IMS(IMS)グループ 医療法人社団 明理会
板橋中央総合病院

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7

TEL.03(3967)1181

— 理念 —

安全で最適な医療を提供し、
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

〈基本方針〉 Fundamental Purpose

1. 二次救急指定病院として、「断らない」医療を提供するために全力を尽くす。
2. 地域中核病院として、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献する。
3. IMSグループ基幹病院として、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成する。

PLAZA IMS

プラザイムス 秋号 Vol.61

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報を伝えするコミュニケーションペーパーです。

脳神経外科の ご案内

脳神経外科は開設当初より地域医療を担う急性期病院として24時間365日提供できる体制を整え、救急医療に取り組んできました。

特に脳卒中に関しては、ことわらない医療を提供し続けており、多数の患者さまを受け入れている実績を残しております。

脳卒中治療においては2005年にt-PA静注療法が保険認可されて以来、閉塞主幹動脈の再開通療法が急速な進歩をとげ、今や血栓回収療法に使用される機器の進歩もあり、血管内治療はなくてはならないものになっています。

そんな中、本年2月より当院と同じIMSグループの病院である明理会中央総合病院のご理解を得て同病院より新たな血管内治療の専門医を仲間に加えることができました。その結果、血管内治療件数は劇的に増加の傾向で多くの患者さまを救うことができたことが結果となって表われています。

また、当脳神経外科は東京女子医科大学との関連病院として2名の派遣医師があり、難易度の高い手術症例に関しては連携してたっており、より高度の医療を提供しています。

また、当院には放射線治療部に定位的放射線治療が可能なサイバーナイフを備えておりますので大学病院を含め多数の病院から紹介されます悪性脳腫瘍や転移性脳腫瘍の患者さまの受け皿となっております。

そして当科はこれら脳卒中や脳腫瘍だけでなく頭部外傷に関連するさまざまな疾患にも対応しております。要請があればいつでも、ことわらない医療を行うことをむねとしてこれからも邁進していきます。

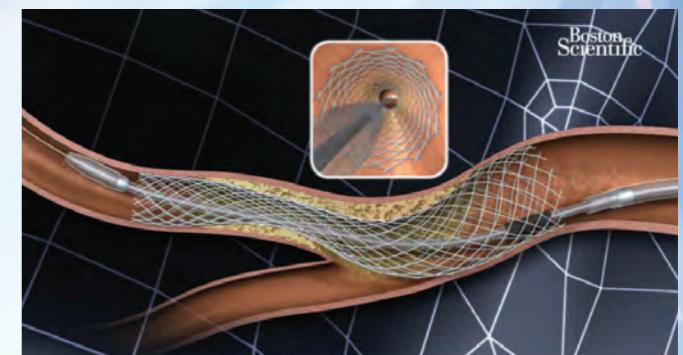
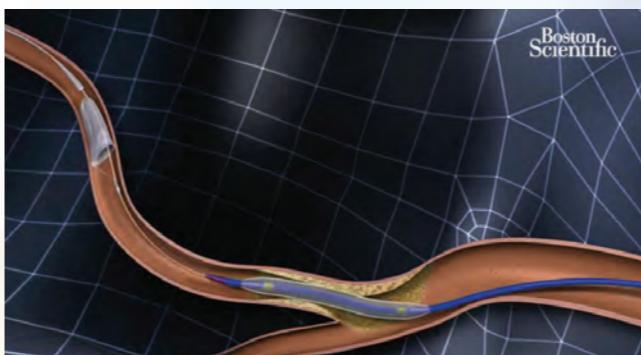
脳血管内治療で何ができるか？

カテーテルを用いた脳血管内治療は、足の付け根やひじの血管から2-3mmくらいの細い管を挿入し首の血管まで誘導します。そこからマイクロカテーテルと呼ばれるさらに細いチューブを脳内の血管にある病変部位まで到達させて様々な器具を使って治療を行います。従来の開頭術に比べると体への負担も少なく入院日数も短くて済みます。



広げる

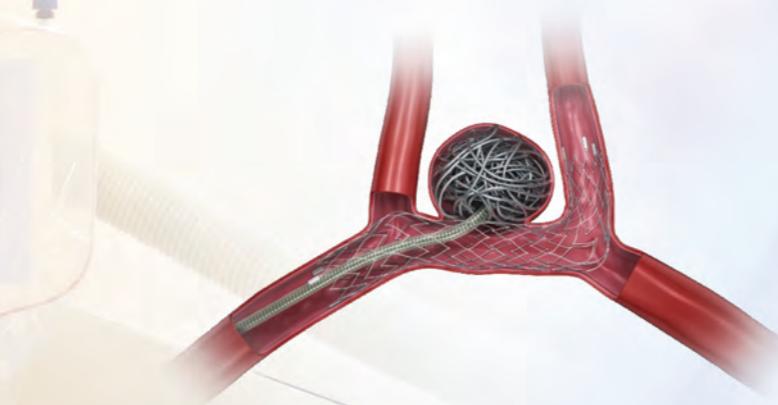
動脈硬化によって引き起こされた頸動脈や脳の血管の狭窄を、先端に小さな風船がついたバルーンカテーテルで拡張させたり、ステントという金属の網でできた筒状のものを留置することによって広げます。これによって脳梗塞を治療したり、また脳梗塞の発症を未然に防ぐことができます。



写真提供：ボストンサイエンティフィック ジャパン株式会社

詰める

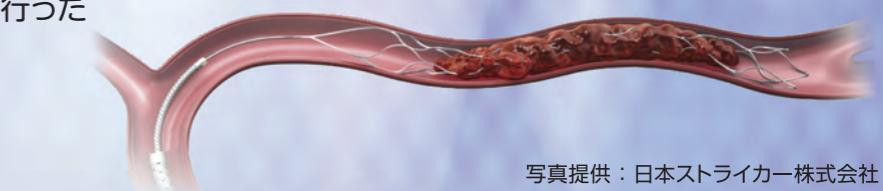
くも膜下出血は脳血管にできる瘤（脳動脈瘤）の破裂によって引き起こされます。一度破裂すると死亡率は高く、また容易に再破裂を起こすようになります。これをカテーテルで治療する場合、マイクロカテーテルを動脈瘤内に誘導し、マイクロカテーテルからプラチナ製の細いコイル状のものを詰めて充填します。これにより脳動脈瘤内で血栓ができ動脈瘤内に血流が流れなくなるため、破裂を防ぐことができます。



写真提供：日本ストライカー株式会社

回収する

脳血管が閉塞すると脳細胞に酸素が運搬されなくなり脳梗塞を引き起こします。これを早い段階で再開通させれば脳梗塞にならずにすみます。血栓の詰まった血管にマイクロカテーテルを誘導し、そこから先端にステントのついたワイヤーを血栓にからめて引き抜いたり、血栓を吸引するためのカテーテルを閉塞しているところまで誘導して吸引を行ったりして血栓を回収します。



写真提供：日本ストライカー株式会社